

2014 年度 伊藤 隆之氏 ピアノ 特別講義

1. 日 時 : 2014年9月18日(木)9時30分~11時00分
2. 場 所 : ミレニアムホール
3. 対 象 学 生 : 大学2年「ピアノ基礎演習B」受講生 学内のみ他聴講可
4. 講 師 紹 介 : 伊藤 隆之氏

ドビュッシーの演奏家として、フランス内外でその活躍を認められたピアニストである伊藤隆之氏は、これまでの国際コンクール入賞歴とともに、ドビュッシー自身がその才能を高く評価したマルグリット・ロンの流れを汲むムニエ氏の薫陶を次世代へ伝える意味においての優れた指導力にも定評があります。

今回の特別講義では昨年、フランスの「ノルマンディー印象派フェスティバル」に招聘された折の「水」をテーマにしたレクチャーコンサートに改稿を加えたものとなり、「霧」「雨」「水」「海」などを題材として、ジャポニズムとドビュッシーの関係を紹介し、背景に投影された映像との関連について、話を交えながら演奏する内容となります。【プロフィール裏面参照】

5. 講 義 概 要 : ドビュッシーと自然の力、水とジャポニズム

<演奏曲目>

霧

Brouillards

“森へ行くのはもうやめよう”のいくつかの様相、天気がひどいから

Quelques aspects de “Nous n’irons plus au bois”
parce qu’il fait un temps insupportable

雨の庭

Jardins sous la pluie

金色の魚

Poissons d’or

水の反映

Reflets dans l’eau

沈める寺

La cathédrale engloutie

エチュード「アルページョのために」の第一草稿

Première version de l’étude « Pour les arpèges composés »

喜びの島

L’Isle joyeuse

Takayuki ITO
伊藤 隆之

1961年生、'79年名古屋フィルとラフマニノフ・ピアノ協奏曲2番を共演して演奏活動を始める。'84年東京芸術大学卒業後、渡仏。'85年、パリ・エコール・ノルマル・A・コルトー音楽院高等演奏科卒業、同年よりジェルメヌ・ムニエ教授のもとで研鑽を積み、'86年、同校コンサーティスト科卒業。ディプロム授与並びにパーフェクション科（研究科）に在籍を許可される。ポルト国際コンクール（ポルトガル）、エピナール国際コンクール（フランス）、カサドシュ国際コンクール（アメリカ）に入賞、並びにフォーレ演奏特別賞、現代音楽演奏賞などの受賞歴を持つ。

また、'87年、カサドシュ国際コンクールでの演奏がニューヨーク・スタインウェイ社芸術家セクションに認められ、国際「スタインウェイ・アーティスト」に選ばれ、50万台目の同社記念ピアノに刻印される。

現在パリに在住し、パリ・ショパン協会主催演奏会、ポルトガル・エストリル国際音楽祭客演等をはじめ、ヴィア・ノヴァ弦楽四重奏団（フランス）、バリトンのカミーユ・モラーヌ（フランス）、ウィーンフィルとの共演、ラジオ出演、コンセルヴァトワール審査員、音楽番組脚本等、フランス音楽を中心に幅広く活動中。また、サントリーホール、カザルスホール等、日本各地でも演奏活動を続けている。

'97年、フランス・ピエール・ヴェラニー社よりリサイタル盤CD「ドビュッシー・フォーレ・スクリャービン」、'98年フランス・アリオン社より「ドビュッシー・ピアノ曲全集第1集」、'01年「同第2集」、'03年「同第3集」、'09年「同第4集」をリリース。

田近完、山崎冬樹、山田みつ、伊達純、ヴラド・ペルルミュテール、フランス・クリダ、ジェルメヌ・ムニエの各氏に師事。